

2021 年度 自己点検・自己評価結果について

2022 年 4 月

関西看護専門学校 看護専門課程 看護学科

目次

はじめに

1. 2021 年度自己点検・自己評価結果・・・・・・・・・・	1
2. カテゴリーごとの総括評価	
Ⅰ. 教育理念・目的・育成人材像・・・・・・・・・・	2
Ⅱ. 学校運営・・・・・・・・・・	2
Ⅲ. 教育活動・・・・・・・・・・	2
Ⅳ. 学修成果・・・・・・・・・・	2
Ⅴ. 学生支援・・・・・・・・・・	3
Ⅵ. 教育環境・・・・・・・・・・	3
Ⅶ. 学生の募集と受入れ・・・・・・・・・・	3
Ⅷ. 財務・・・・・・・・・・	4
Ⅸ. 法令等の遵守・・・・・・・・・・	4
X. 社会貢献・地域貢献・・・・・・・・・・	4

おわりに

はじめに

本校は社会福祉法人 枚方療育園を設置主体とした看護師養成所である。社会福祉に貢献できる創造性ある看護実践者を育成することを目的として1975年に開設された。現在まで3000名を超す卒業生を輩出している。専修学校の学校評価が義務付けされて以降、本校では、2010年に自己点検・自己評価委員会を立ち上げ、自己点検・自己評価を行った。また、2017年度より2年に1回、自己点検・自己評価を行い、教育活動の評価と新カリキュラム構築に向けた見直しを行っている。さらに、2021年度より自己点検・自己評価指針を厚生労働省から、文部科学省ガイドラインに準拠した指針に変更し、実施した。今回、2021年度自己点検・自己評価を実施した結果について、報告を行う。

目的

自己点検・自己評価を行うことで、「教育水準の維持・向上と創意工夫のある教育の追及」を図る。

1. 2021年度 自己点検・自己評価結果

表1 2021年度 自己点検・自己評価結果

項 目	評価点／3点満点
I 教育理念・目的・育成人材像	2.37
II 学校運営	2.43
III 教育活動	2.63
IV 学修成果	2.29
V 学生支援	2.24
VI 教育環境	2.44
VII 学生の募集と受入れ	2.60
VIII 財務	2.17
IX 法令等の遵守	2.26
X 社会貢献・地域貢献	2.11



2. カテゴリーごとの評価

I. 教育理念・目的・育成人材像

教育理念については、学生にもわかりやすく、印象に残りやすい表現としている。2022 年のカリキュラム改正に向けて、学校の立地場所である枚方市の現状や将来学生が働く学校の設置主体である枚方療育園の意向も踏まえつつ、教育目的・目標を見直し、目指す卒業生像や 3 つのポリシー、用語解などを作成した。さらに、カリキュラムループリックの作成を行い、段階的な学生の到達目標も明らかにした。適宜学生に到達度を伝えることで達成感を感じ、学習への動機づけになるように関わってきたい。

新カリキュラム運用後も社会及び関連施設のニーズを常に点検し、継続した評価を実施していく。

II. 学校運営

教育理念等に沿った運営方針・事業計画を定め組織運営を図っている。情報化社会に適応し、情報管理システムに基づいた業務効率化が進むよう取り組んでいる。

III. 教育活動

教育理念等に沿った教育課程の編成、修業年限に応じた教育到達レベルを明確にして運営している。この数年間世界的な感染拡大の影響を受け、大きく教育方法の転換が求められてきた。制約の多い学習環境の中で、学習管理システムの導入、ICT を活用した授業展開、実習代替のための新たなシミュレーションシナリオ作成を中心に、教育理念等が達成されるための新たな教材・教具の開発に取り組み成果を残すことができた。さらに、実施されている教育活動に対して授業評価、研究授業・協議会の取り組みを行っており、教育方法の見直しや活用の検討を継続して行っている。授業評価においては、より効果的に運用できるための方策を新たに検討した。授業改善から教育課程を広く評価する視点を持ち教育の質の向上に努めたい。また、教育課程の編成及び運用にあたって、適切に教育活動が行われているか外部からの意見を反映し評価できるよう、各施設との連携強化、学校関係者評価導入に努めていく。

教員の資質の向上に関しては目標管理の実施、研修会の参加、研究活動の推進、教員間のピアサポートチーム活動、校内講習会などの機会を通して自己研鑽・相互研鑽できる仕組みをより活性化できるよう取り組んでいく。

教育活動を行う上で、学生自身が発展的にキャリア形成できるようキャリア教育を意識した取り組みに努めていく。さらに、2022 年度入学生からは、カリキュラムループリックを作成したため、学生個々が自身の成長と課題を捉え主体的に学習できるよう活用し支援していく。

IV. 学修成果

本校は、3 年間の修業年限を修了したうえで看護師国家資格を取得し、社会福祉に貢献できる看護師を育成することを目的としている。

資格・免許の取得向上に向けて、1 年次より学年団を中心とした学習支援・学習環境の調整・メンタルサポートを行っている。資格・免許の取得率は全国平均を上回っており、さらに教育方法と合格実績の関連性を評価し、指導方法の改善に取り組むと共に、入学前からの学習レディネスの把握と入学後早期から個別支援できる体制を強化して取り組んでいる。就職に関しては、就職支援のための体制を整備しており、進学を除くと 100% の就職が実現している。就職後、看護基礎教育で培った能力をどのように発揮しているか追跡評価するシステムが構築されていない

め、関連施設と協働し、看護基礎教育の到達度が測定・評価できる仕組みづくりに取り組んでいく。

V. 学生支援

学生が健康的に学修を継続し、卒業できるよう学習支援をはじめ、経済的支援、健康管理、学習環境の提供に努めている。

関西看護専門学校奨学貸付金制度を設け、その他公的奨学金制度の相談・手続き等、修学に必要な経済的側面への支援体制を整えている。また、遠隔地から就学してくる学生に対して学生寮（女子のみ）を完備し、学習に集中できる環境を提供している。スクールカウンセラーや、設置主体である枚方総合発達医療センターの医師を校医として配置し、心身ともに健康管理を行うための体制を整えている。保護者には入学説明会を開催し、本校の教育方針の理解を得られる機会を設けている。また、入学後は各種情報提供や、学校生活の様子などの情報共有を必要に応じて電話連絡や面談を実施し、連携を図るよう努力している。

卒業生においては、再就職及びキャリアアップ等についての卒後の相談に適宜応じている。新卒生は卒後 6 か月をめどにホームカミングデーを開催し、就職後の状況確認や相談ができる体制を整えている。

VI. 教育環境

学校の施設・設備等は関連法令等の基準を遵守している。昭和 50 年の設立から、校舎の老朽化の問題が生じており、メンテナンスを実施しながら安全に、快適に学習に専念できる環境を整えるよう努力している。しかし、老朽化の限界も踏まえ施設更新計画を策定し、新校舎の建設を開始している。教育上の必要性に応じた教材・教具については高機能シミュレーター、各種モデル人形、診察器具など保健師助産師看護師学校養成所指定規則に基づいて整備している。ベッド数に関しては指定規則以上の数を整備し、学生が技術練習に取り組みやすい環境を整えている。

学外実習においては、実習機関の指導者との連絡・協議の機会を設け、教育目的や学生指導に関する情報共有と意見交換を行っている。今年から、年一回の定期的な講師会の開催を開始する。実習機関及び非常勤講師に本校の教育方針について共通見解のうえ、一貫した教育が提供できるよう努力していきたい。

海外研修については、感染拡大の影響を受けここ数年実施に至っていないが、他国の文化や社会的背景に視野を向けることを目的とし、希望者に対して米国ロサンゼルスもしくはベトナムでの医療及び福祉機関の視察、現地交流などを行う研修を設けている。

学内における安全管理・防災に対する組織体制は適切に運用されている。防災に関しては、毎年防災訓練を実施しており、学生の防災意識の高まりが見られている。今後は、看護師を目指すものとして、被災者支援の視点でも意識を高めていけるよう取り組んでいく。今年では地域の防災訓練に参加することでより一層、防災への意識を高めていけること期待する。

VII. 学生の募集と受入れ

本年度、ホームページの改訂を行った。さらに高校訪問・ガイダンスの参加に加え、オープンキャンパスや授業体験型の特別オープンキャンパスといった取り組みを行い、広く本校の魅力を周知できるよう取り組んでいる。しかし、ここ数年感染拡大の影響を受け、対面での実施が困難な状況が多く見受けられた。今後は、対面訪問や対面開催を基盤としながらも、ICT 等を活用しながら制約を回避した学生募集活動が展開できるよう検討していきたい。

入学選考に関しては、入学基準・多様な選考方法を定め適切に実施している。今後、社会の現

状や受験生のニーズに沿った入学選考となるよう、組織的に評価できるシステムを構築している段階である。

VIII. 財務

府と設置主体である社会福祉法人枚方療育園からの支援を受け、適切に運営している。

IX. 法令等の遵守

専修学校設置基準において、保健師助産師看護師学校養成所指定規則に則り、運用している。隔年で継続して自己点検・自己評価を実施し、ホームページ上への公表を行っている。次年度より学校関係者評価の実施・公表に向けて取り組んでいる段階である。

X. 社会貢献・地域貢献

地域交流の一環として、地域住民からの声を参考に清掃ボランティアなど学生主導で取り組んでいた。しかし、感染拡大の影響を受け、主体的な活動はここ数年制限されている。2022年のカリキュラム改正に向けて、地域の特徴や特色も加味したカリキュラム構築に取り組んだ。今後の活動を評価していきたい。

おわりに

今回で、4度目の自己点検自己評価の実施となった。今年から、新カリキュラムにおける新たな教育が開始される。新カリキュラム運用にあたって、さらなる教育の質向上と学修成果が得られるよう、自己点検・自己評価の結果を活用していきたいと考える。今回の自己点検・自己評価結果で明らかになった課題を改善し、より良い教育ができるように努力していきたい。

2022 年 4 月
関西看護専門学校
自己点検・自己評価委員会